

チームBJスナイパー東海エリア

三重県四日市一文字 散策レポート

作成: 2019.06.29(土)

田村 哲生(たむら てつお)

【プロフィール】

ちぬ落とし込み・前打ち釣り歴27年

チームBJスナイパーフィールドアドバイザー

チヌ迷人・IKR・チヌの魚信を楽しむ会・BAA所属

伊勢湾内をホームグラウンドに遠征含め年中釣行

【日時】

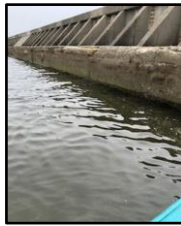
6/29(土)5:00出船・11:00帰船にて、私(田村)と加納達也(チームBJスナイパーフィールドアドバイザー・東海エリアマネージャー)の2名で散策
中潮干潮9:26、曇のち雨(降水確率60%)

【目的】

誰でも気軽に楽しく参加できるイベントとして7/21(日)にチームBJスナイパー交流会(in四日市一文字)が行われる予定のため、現地の情報を事前確認し、少しでも交流会当日までの釣りの組立てにお役に立てて頂く

【6/29四日市一文字の状況】

- ・渡船場港内はベタ風・透け潮で、沖に出ればやや風とさざ波あり
- ・朝一乗船者は約40名、タコ師が大半でその他ルアーマン、チヌ落とし込みは私達以外に3名
- ・沖堤の透明度は目測1.5m(沈めたものが見えなくなる個人的尺度)で、この日は濁りと波気の期待薄
- ・堤壁の付着物は確認できた範囲で、カキ殻・ニシ貝・緑色の海藻で、タコエギにてごくたまにパイプが引っ掛かってくる情報ですが、中身が空のムシ無しパイプとの



- ・5:30~8:00の間、カラス・カニにて新提・中提・旧提で竿を出し釣果はフグのみでこの日チヌの気配なし、他のチヌ落とし込み師も同様のようでした
タコは多い人で27ハイ、1kgサイズも混ざるようで、ルアーはヒラメ3枚、マゴチ5~6匹とガシ・クロソイと、魚は居ます



兄(加納)



私

- ・地提では船にカラス貝が付着しているところもあり、チヌの釣れた情報がちらほら聞こえています

【所見】

6月の関西爆釣情報に対し、東海の沖堤でははたしてアタリを出せるのかが課題と楽しさですどのエサ・どのような仕掛けを使って食わせるかなど、戦略検討の繰り返し・手段の追求により答えが現れますこのような状況での一尾の価値は計り知れなく言葉に表現できないものとなります
盛期突入前7/21までに台風などまだまだ環境も変化しますので、腕がパンパンになる可能性も0ではなく、皆で安全に楽しく交流できる日をとても待ち遠しく感じています

【渡船アクセス】

●交通

名古屋方面から国道23号線で
三重県四日市市浜町の交差点を左折、
稲葉町の信号を直進し突きあたりを右折、
左手の漁港入口に入り渡船受付

●問い合わせ

渡船丸(金山 幸夫さん) 059-351-8411



港内入口



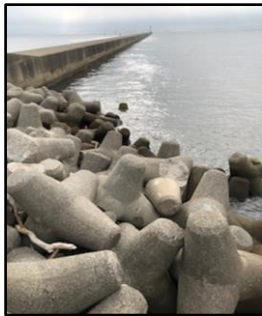
渡船丸受付場



7/21よろしく
お願いします(兄)
(笑顔の船長)

【四日市一文字ご紹介】

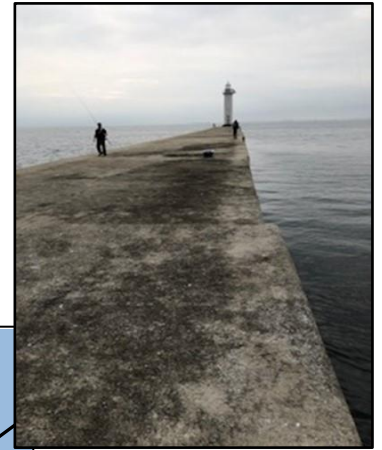
全長2.4km、新堤700m・中堤1400m・旧堤300mの垂直ケーソン
水深は新堤と旧堤が5~7m、中堤は4~6m、
中堤・旧堤の高場は7mのタモが必要です



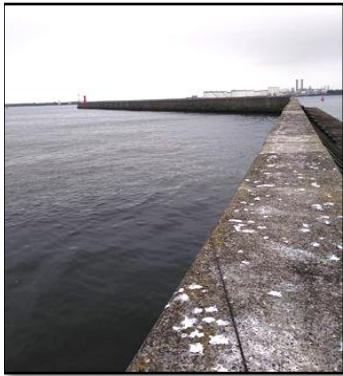
新堤ふもとのテトラ
右手が外洋です



新堤ふもとから先端



新堤先端に白灯台



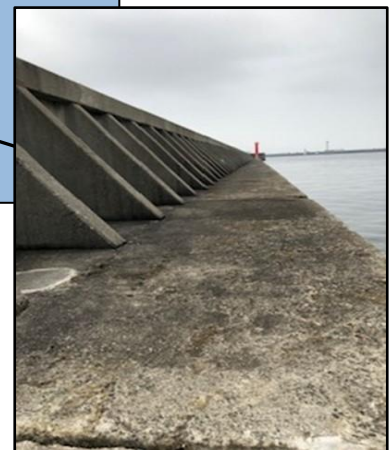
中堤高場から旧堤



四日市一文字堤



旧堤と中堤の交わるコーナーの
低場あたりにはゴロタ石があり
ここは水深2m前後



旧堤先端に赤灯台